

東京都社会人ハンドボール連盟 理事長選挙

理事長候補者届

フリガナ	ハシ モト エイ ジ
候補者氏名	橋 本 永 治
所属	小岩クラブ

所信表明

2015年より、3期6年間理事長を務めさせていただきました。

その間、事故なく勤めることが出来たのも、皆様の運営へのご協力のおかげだと感謝しております。ありがとうございました。

1期目の財政再建、2期目の連盟規約の見直しなど順調に進めることができました。

3期目は女子チームを増やすことと役員の増員を図ること、2020年のオリンピックを盛り上げ2021年春には社会人連盟発足50周年を祝うはずでした。

昨年の年明けから新型コロナウイルス感染症の拡大によりオリンピックは1年延期に当連盟でも2019年度最後の事業である塩山マスターズの中止や2020年度のリーグ戦と今年3月に予定していました塩山マスターズもすべて中止としました。

安心安全な環境を確保したなかでのハンドボールを行う場所を提供するための処置とはいえ非常に残念なことでした。

年明けの2021年も感染症の拡大がとどまらず政府は1都3県に緊急事態宣言を発出され今年度の大会の開催も不透明な状況です。

東京都では連日2千人を超える感染者が確認され、しかも感染経路不明者の割合が多いという今の状況での開催は難しいでしょう。

この状況を変えるものはワクチンの投与しかないのではと思われます。

ワクチンの投与により6割の人に抗体ができ感染症に歯止めがかかることを私は期待していますが、副反応やウイルスの変異種の出現など順調に進む保証はありません。

連盟では7月には収束に向かうのではと会場の確保など開催の準備を進めています。

私は医者でも科学者でもありませんが、様々な情報をこれからも注視していこうと思います。

とりあえずはインフルエンザ並みにリスクが下がり安心安全を確保してからの開催と考えています。

昨年度は二人の理事が加わってもらったのですが、残念なことに仕事の退職と共に副理事長が退任し、また岡本総務部長の急逝など役員の増員が喫緊の課題です。

見切り発車などすることなく、しっかりと状況判断をして大会を開催すること、そして3期目で実現できなかった役員の増員と女子チームを増やすことを実現したく立候補いたしました。

1年遅れの50周年をより多くのチームと大勢の仲間と共に祝うことができればと思います。

そして新型コロナ後の2020東京オリンピックとハンドボールを盛り上げていきたいと思っております。

橋 本 永 治

